

# 喬木村情報教育に関する指導計画(2017年度)

情報教育において育成を目指す資質・能力		小1年・小2年		小3年・小4年		小5年・小6年		中1		中2		中3						
【知識・技能】情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること																		
情報と情報技術を活用するための知識と技能	A	閲覧:ボタン、メニュー、リンク、検索	タブレットの電源を入れる。 タブレットのシャットダウンする。		必要な情報をWeb検索する。													
	B	入力:文字(ソフトキー・キーボード)	ひらがなをソフトキーで入力する。		漢字をソフトキーで入力する。		ひらがなと漢字をキーボードからローマ字入力する。		キーボードで1分間20文字入力する。		キーボードで1分間30文字入力する。							
	C	入力:手書き、図形(マウス・ペン・指)	手書きで文字や絵や図を描く。				マウスを使ってメニューを選択したり、スタンブや写真を移動させたりする。ペンや指を使って図形ツールで図を描く。											
	D	録画・録音:写真、音声、ビデオ	タブレットを使って写真を撮影する。		タブレットを使ってビデオを撮影する。						画像ファイルや音楽ファイルの種類の特徴を理解する		音声や画像、動画など多様なメディアを複合し、より効果的な電子ファイルに編集できる					
	E	整理分析:表、グラフ、計算					データを表に整理する。		表から棒グラフや円グラフを作成する。		表計算ソフトを利用して、棒グラフや円グラフを作成する。		表計算ソフトで目的に応じてグラフを選択し、作成することができる。					
	F	発信・交換:プレゼンテーション、メール、掲示板	写真を大型提示装置に大きく映し、プレゼンテーションする。		自分の伝えたいことや学習してきたことをデジタルツールにまとめて、プレゼンテーションする。		掲示板で意見交換する。		メールで先生に課題を送信したり、友だちと情報交換したりする。		プレゼンテーションソフトをつかって、考えをまとめる。		配色やフォントを工夫したり、アニメーションの付いたプレゼンテーションを作成することができる。		聞き手を意識して、自分の伝えたいことを効果的に伝えるプレゼンテーションを行うことができる。			
	G	ファイル:開く、保存、ファイル名、複製、移動、削除、フォルダ管理	写真を開く・削除する。		写真を表現ツールに取り込み、写真のサイズや向きを変えられること。		撮影・録画した写真や動画を、フォルダに整理する。		ファイルに名前をつけて保存し、フォルダに整理する。		多様な種類の電子ファイルがあることを知る。ファイルを複製・移動する		階層を意識してフォルダを作成し、ファイルを保存する。		種類や内容に応じて適切な場所に電子ファイルを整理・保存できる。			
問題解決の発見	H	情報と情報技術を活用して問題を発見・解決するための方法	情報をベン図やコンセプトマップを用いて、仲間わけや関連づけをして、その特徴に気付く。	表やベン図などをを用いて、情報を比較・整理することで、問題を発見する。	一人一人の考えを電子黒板等で共有し、類似点や相違点に注目し、意見交換して問題を発見したり、解決したりする。		思考過程を共有・再現することで、問題を発見したり、解決したりする。				プレゼンテーションやポスターセッションを行った問題解決を行うことができる		身の回りから問題を発見し、情報技術を生かした問題解決を行うことができる					
情報と社会	I	情報社会の進展と社会に果たす役割と影響	授業で情報機器を使うことや、情報を得る手段として、テレビやインターネットを役立てる。		自分たちの身の回りにも情報通信技術が活用されていることを知り、生活に役立っていることを理解できる		情報を伝える産業として、マスメディアの使命や役割を考える。		日常的な生活において情報や情報機器がどのような役割を果たしているか、事例をもとに理解できる		情報技術に関する原理・法則や仕組みを理解し、情報技術と生活や社会、環境との関わりについて考える。							
法・制度・責任	J	情報に関する法・制度やマナーと情報社会において個人が果たす役割と責任	パスワードの入力の仕方を知る。	知らない人にパスワードや個人情報(名前や住所、電話番号等)を教えないことを知る。	自他の情報を第三者に伝えてはいけないことを知り、ルール・マナーを守って情報の発信ややりとりができる。また、Web上には不適切な情報や有害な情報など、危険があり、不適切な情報や危険に出会ったときはすぐに大人に相談することを知る。		ネットの活用により、起こりうるトラブルと健康への影響について考える。肖像権や個人情報の基本的なことを知る。		適切な情報活用のために、様々な法律や制度があり、守るべき責任があることを知る。		情報の技術の悪用が、社会に多大な経済的・精神的な損害を与えてしまうことについて知り、正しく利用できる。							
【思考力・判断力・表現力等】様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。																		
情報の収集・判断・表現・処理・創造	K	情報の収集・判断に情報技術を活用する力	伝えたいものを写真撮影し、複数の写真から、最適なものを選択する。		伝えたいものを動画撮影し、複数のビデオから、最適なものを選択する。		目的に応じて、インタビュー、Web検索、図書などから、適した方法を選択し、情報を収集する。		情報技術を活用した、様々な情報収集の方法を知る。		WEBアンケートを作成し、情報収集を行うことができる。		複数の情報を収集し、類似点、相違点などを比較して、目的に応じた判断をする。					
	L	情報の処理に情報技術を活用する力	写真・カード・付箋を仲間わけする。		写真・カード・付箋を仲間わけし、名前を付ける。		付箋などを特徴に応じて二次元上に配置する。		情報を表に整理したり、棒グラフや折れ線グラフに表したりして、特徴をとらえやすくする。		目的に適した表現方法を選択し、グラフを作成して、特徴をとらえやすくする。		収集したデータを表計算ソフトを用いて適切な方法で処理して活用することができる。					
	M	情報の表現・創造に情報技術を活用する力	撮影したタブレット上の写真を拡大して、伝えたいことを発表する。		写真に文字、線、図形などをかき加えて、自分の考えを相手に伝える。		収集した写真、資料や自分の考えなどの素材を構成して、新聞やポスターを作成する。また、役割を分担しながらグループとしての考えを新聞やポスター、プレゼンテーションとして表現する。		プレゼンテーションソフトを使い、文字の大きさや色違い、画像の配置などレイアウトを工夫してわかりやすく発表できる。		プレゼンテーションソフトを使い、文字の大きさや色違い、画像の配置などレイアウトを工夫してわかりやすく発表できる。		画像、動画、音声などの情報を加工・編集し、その特性を考慮して、伝えたいことを効果的に表現する。					
プログラミング	N	プログラミングやシミュレーションを効果的に実行する力	指定された条件通りに身体を動かしたり、自ら条件を変更して体を動かしたりすることで、シーケンスや繰り返し、条件分岐などのプログラミングの要素を体験する		ビジュアルプログラミング言語をつかって、キャラクターを目的地に移動させるプログラムを組むことができる。また、ロボット等をプログラミングして目的の場所に移動させることを経験する。		ビジュアルプログラミング言語をつかって、簡単なアニメーションをつくる。また、ロボット等をプログラミングして光センサーや音センサーをつかった動作制御を体験する。		今まで体験してきたプログラミングの思考を、プログラミングの際に必要な処理の名前に置き換えて、理解することができる。		双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって、問題解決をする		生活や社会における問題を計測・制御のプログラミングによって解決する。					
コミュニケーション	O	情報技術を用いたコミュニケーションを適切に実行する力	伝えたいことを写真を見せながら説明し、質問に答える。	自分の考えをタブレット上に表し、大型提示装置に大きく映しながら説明し、質問に答える。	一覧表示した友達の考えを、自分の考えと比較して、その違いを説明したり質問したりする。		掲示板を利用して情報交換ができる。		メールを利用して、情報交換ができる。		目的に適した情報手段を選択して、コミュニケーションを行う。							
	P	情報技術を用いた遠隔地の人とのコミュニケーションを適切に実行する力	村内にある他校の同年生の友達と遠隔会議システムをつかって交流をする。		村内外の他校の友達と遠隔会議システムをつかって授業をする。		遠隔会議システムを活用して遠隔地の相手とグループをつくり、協働的に課題に取り組むことができる。遠隔会議システムを活用し、海外と交流する。						相手や課題に応じて適切なツールを選択し、遠隔地の相手と課題解決にむけて協働できる。					
【学びに向かう力・人間性等】情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること																		
多面的な多面的味	R	情報を多面的・多面的に吟味しその価値を見極めようとする態度	他の考え方に触れて、なぜそう思ったのかを知ろうとする。		いろいろな考え方があり、それを比較しようとする。		自分と異なる考えがあるだろうと考えて、他のやり方を試そうとしたり、別の考え方をしてみようとする。		多面的に問題を考え、何が最適かを見つけようとする。		多面的に考え方を比較・吟味し、それぞれの価値を考えようとする。		多面的に問題を考え、何が最適かをみつけようとする		多面的に考え方を比較・吟味し、それぞれの価値を考えようとする		メディアから収集した情報には発信者の意図や背景があることを知り、批判的にとらえることができる	
情報モラルと責任	T	情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度	他人のパスワードを見たり、自分のパスワードを見せたりしない。	友達の写っている写真やビデオを勝手に利用したり、個人情報勝手に人に伝えたりしない。	友達の作品を勝手に書きかえたり、自分のものとして紹介したりしない。		不適切な情報や有害な情報を見ようとし、見つけた場合は先生にすぐに相談できる。		メールやSNSを、モラルや安全に注意して適切に利用する。		肖像権や著作権といった互いの権利について守ろうとする。		情報通信ネットワーク利用上の基本的なルールや法律を遵守し、著作権や知的財産権を尊重する。		知的財産を創造し、相手の権利も尊重しようとする。			
主体的な社会参画への意欲	U	情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度			友達と情報を交換することを通して、人と関わり、仲間づくりをする。		互いが発信した情報を組み合わせて、新しい考えを構築したり、作品を作ったりする。		情報を地域に発信することで、自分の思いを伝え地域との関わりを深める。						普段使っている情報機器が、より便利に使えるように、改善点や新しいアイデアを提案する。			